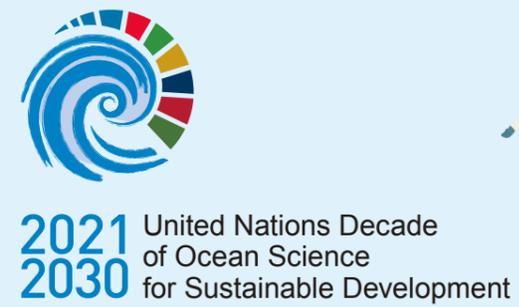


10の挑戦課題

| | | | | |
|--|---|---|---|--|
| <p>1</p> <p>海洋汚染の減少</p> <p>汚染の状態を調べ、人への影響を把握し、汚染を減らす方法を提案します。</p> | <p>2</p> <p>海洋生態系の保全</p> <p>海洋生態系を理解し、監視し、生物多様性などを回復させる解決策を示します。</p> | <p>3</p> <p>海からの食料資源の確保</p> <p>持続可能な食料の供給のために海の状態を監視し、理解し、新たな開発を支援し、解決策を示します。</p> | <p>4</p> <p>海洋経済の活性化</p> <p>海運や沿岸域の開発など海洋経済の発展のために、科学的知見を元に変革を支援し、対策案を提案します。</p> | <p>5</p> <p>海と気候変動の理解と予測の促進</p> <p>海と気候変動の理解を促進し、将来の温暖化への対策のための新たな知識を創出します。</p> |
| <p>6</p> <p>海洋災害の警報</p> <p>津波や高潮をはじめ、自然および人為起源のあらゆる海洋災害に関する早期警報システムを世界の全地域に拡張し、高度化します。</p> | <p>7</p> <p>海洋観測の促進</p> <p>前の1から6の項目に貢献できる全球の海洋観測システムを構築して、データや情報を速やかに万人に提供します。</p> | <p>8</p> <p>海洋情報のデジタル化の促進</p> <p>海洋から得られたデータや情報を統合し、全人類の共通の財産として、これまでと現在、これからの海の情報を、自由で開かれた形で提供します。</p> | <p>9</p> <p>能力の向上とデータや情報へのアクセス、知識の向上</p> <p>新たに創出された知識とともに、誰でも海のデータや情報を利用でき、世界中で海洋科学からの海の知識を向上するようにします。</p> | <p>10</p> <p>リテラシーの向上と人類の行動変容</p> <p>人類に対する海の価値の理解を通じて、海洋リテラシー（理解した事を利用して行動する能力）の向上を目指し、海を守る方向に人々の行動変容を促します。</p> |



未来を生きる みなさんへ、 美しく豊かな海を 届けるために。

持続可能な開発のための
国連海洋科学の10年(2021-2030)

「持続可能な開発目標(SDGs)」のひとつである「豊かな海を守ろう」を達成するために、2021年~2030年の10年間で「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年」とすることが宣言されました。この10年間、ユネスコを中心に、各国政府、科学者、産業界、市民団体などが海洋環境を守るさまざまな活動を集中的に行います。2021年からの実行に向けて、次のページで紹介する7つの観点により計画の検討が進められました。どの活動も、深刻さを増す海洋の課題を解決し、みなさんの将来へ豊かな海をつなぐための大切なものです。未来の海を守る活動内容をぜひ知ってください。



持続可能な開発目標(SDGs)とは?
2015年、ニューヨーク国連本部において、150を超える加盟国首脳に参加のもと、2030年へ向けた「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など地球規模の課題を解決する17の具体的な行動目標が定められ、世界中の人々がその実現に取り組んでいます。

研究者

社会で重要な決定ができる情報 (Actionable Information) を作る

海洋研究の成果
研究論文・データ・サンプル

行動につながる情報
Actionable Information

どういう情報が必要か、話し合い/コミュニケーションで決める。

話し合いを通じて、リテラシーが向上する。

海洋の関係者

自ら意思決定し行動ができる情報 (Actionable Information) を元に行動

会社
役所 (中央、地方)

JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
TEL: 046-866-3811 (代表)
FAX: 046-867-9025

詳細・関連情報については下記ウェブサイトをご覧ください。

| | |
|--|---|
| 国連海洋科学の10年 | [英語] https://oceandecade.org |
| 政府間海洋学委員会 (IOC) / 西太平洋地域小委員会 (WESTPAC) | [英語] http://iocwestpac.org/news/914.html |
| 文部科学省日本ユネスコ国内委員会 | http://www.mext.go.jp/unesco/index.htm |
| 東京大学大気海洋研究所 | https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/ |
| 海洋研究開発機構 | http://www.jamstec.go.jp |

豊かな海を守る、 私たちみんなの挑戦です。

A Clean Ocean

きれいな海

汚染物質の人や生物への影響を調査します。

海に流れ込む汚染物質が、人や生物に及ぼす影響を調査します。さらに、生物が生き残っていくバランスのとれた海の環境を見極めるための研究も行います。

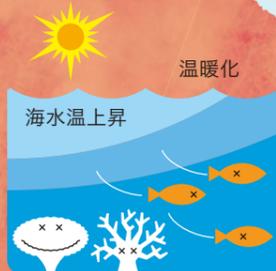


A Healthy & Resilient Ocean

健全で回復力のある海

海洋環境の急変に伴う生態系の異変を調査します。

海の生物は、自然や人による影響を受けても回復する能力があります。しかし最近の急激な環境変化は、生態系に回復不能な影響を与えており、詳しい調査を行います。



An Inspiring & Engaging Ocean

夢のある魅力的な海

世界の人々が海の理解を通じ、海を利用し守るために行動する海を目指します。

海は夢のあるフロンティアですが、一層その魅力を伝える事が大切になっています。様々な形の対話や議論を通じて、世界中の人々が海の魅力や価値をよく理解して海を利用し、かつ守るための行動ができるような社会を共に目指します。



A Predicted Ocean

予測できる海

海のさまざまな現象を正確に予測できるようにします。

詳細な海底地形や大気、海洋生物などの多くの観測データと、高度なコンピュータ・シミュレーション技術を用いて、海洋のさまざまな現象を正確に予測できるようにします。また、より良い予測のための海洋調査を行います。



情報やデータの集約と発信

危険を知らせて安全を守る

様々な海洋調査によるデータ収集

海からの自然災害の軽減

生態系の監視

A Safe Ocean

さまざまな海洋災害から暮らしを守ります。

安全な海

津波や高潮・高波のほか、漁業被害を発生させる海洋熱波や赤潮などから暮らしを守るため、新技術を活用した、それらの災害に対する警報システムの開発などを行います。



津波・高潮

赤潮

海洋熱波

A Productive Ocean

生産的な海

いつまでも魚が獲れる豊かな海をめざします。

近年、乱獲や環境変化によって魚介類の漁獲量が減少傾向にあります。こうした状況を改善し、持続的に水産物を確保できる海を目指し研究を進めます。



An Accessible Ocean

万人に開かれた海

世界中の人々が海洋情報を有効活用できるようにします。

海洋調査で得られた情報をオープンにして、誰でも利用できるしくみを構築します。また、発展途上国に対して海洋情報を正しく活用できるように啓発活動も行います。

